

## 2 - 5 東北地方とその周辺の地震活動（1994年5月～10月） Recent Seismic Activity in and around the Tohoku District

仙台管区気象台

Sendai District Meteorological Observatory, JMA

第1図に、1994年5月～7月及び同8月～10月の期間に、東北地方とその周辺で発生した地震の震央分布を示す。この期間、東北地方とその周辺で発生した地震の内、気象官署で有感となった地震は43回観測された。このうち主な地震は次のとおりである。

7月31日06時21分青森県東方沖（M5.4）の地震では、八戸・盛岡・むつ・浦河・苫小牧で震度2を観測するなど、東北地方から北海道にかけて有感となった。なお、気象官署では無感であったが、6月1日11時53分宮城県北部を震源とする地震（M3.6）が発生し、震央付近の栗駒町や金城町では震度3相当の揺れを感じた模様である。また、7月14日22時37分にも宮城県北部（前者の南東側）でM3.3の地震が発生し、震央付近の若柳町では震度3相当の揺れを感じた模様である。この地域では昨年5月1日にもM3.6の地震が発生し、付近の住民から“ドーン”と突き上げるような揺れを感じたとの情報が寄せられている。

8月14日18時06分宮城県沖の地震（M6.0）では、大船渡で震度4、仙台・盛岡・石巻で震度3を観測するなど、東北地方と関東地方及び中部地方の一部で有感となった。同16日19時09分福島県沖の地震（M6.0）では、仙台・大船渡・盛岡・福島で震度3を観測するなど、東北地方と関東地方及び北海道の一部で有感となった。同海域ではこの地震に引き続き、19時17分にM5.3の余震が発生するなど、一時活動が活発となった（本巻別項参照）。

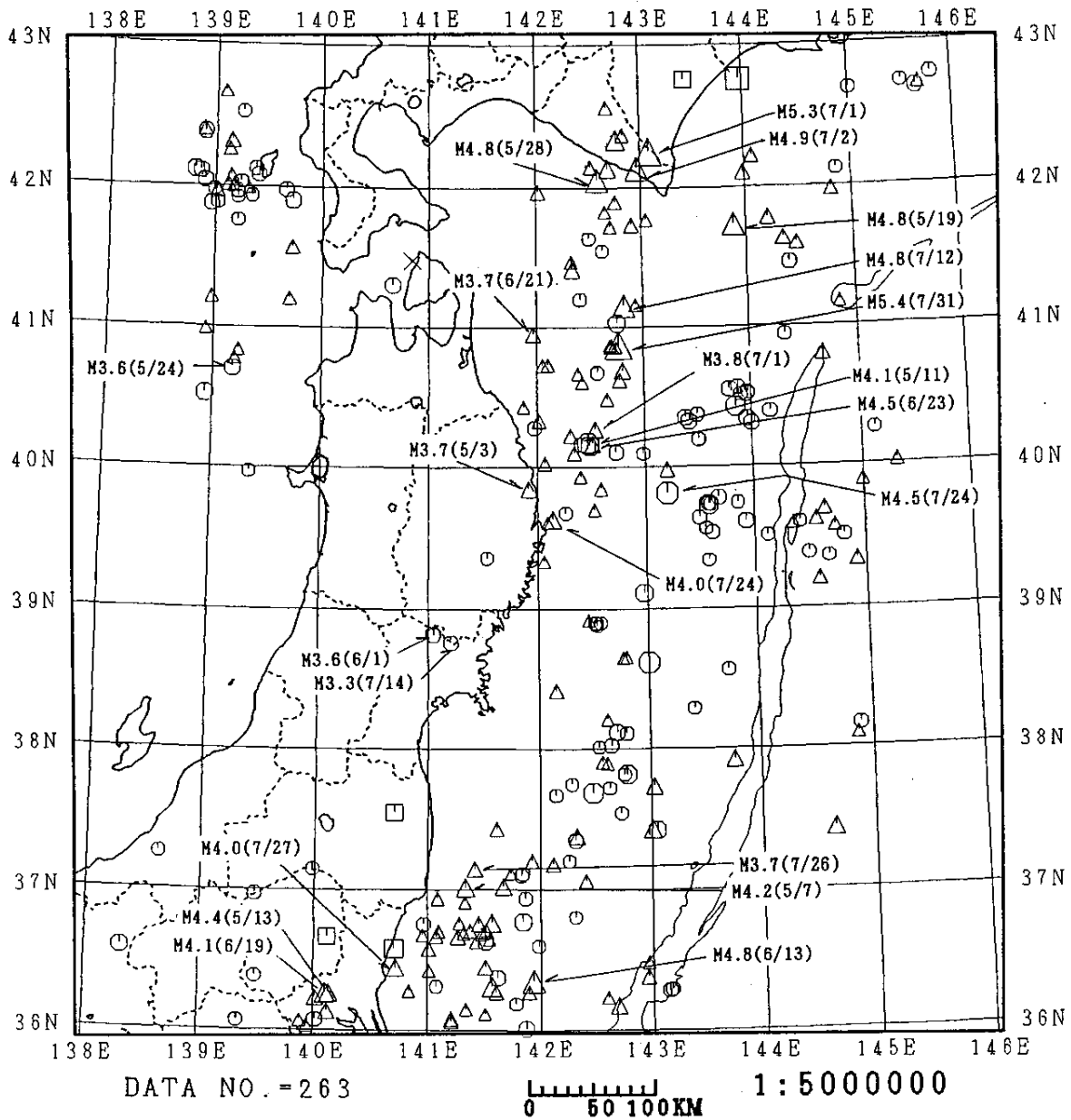
9月23日11時37分福島県沖の地震（M5.5）では、白河で震度3、福島・若松・小名浜・仙台・水戸・柿岡で震度2を観測するなど、東北南部から関東地方にかけて有感となった。同海域では、23日19時54分にもM4.4の地震が発生するなど、一時活動が活発となった。

福島県沖では、9月25日にM4.5、10月6日にM4.6、10月20日にM4.5の地震が発生するなど、全般に活動が活発であった（宮城県～福島県沖の地震活動に関しては本巻別項も参照されたい）。

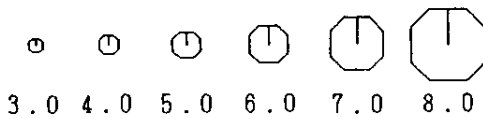
なお、10月4日22時22分に発生した「平成6年（1994年）北海道東方沖地震」による津波は、東北地方の太平洋沿岸各地にも来襲し、気仙沼市などでは床上浸水などの被害が発生した。管内官署での津波の高さの最高は、宮古の72cmであった。

(a)

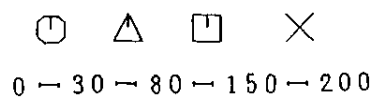
[震央分布図] 1994年5月1日~7月31日 M $\geq$ 3.0 h $\leq$ 200 km



MAGNITUDE



DEPTH



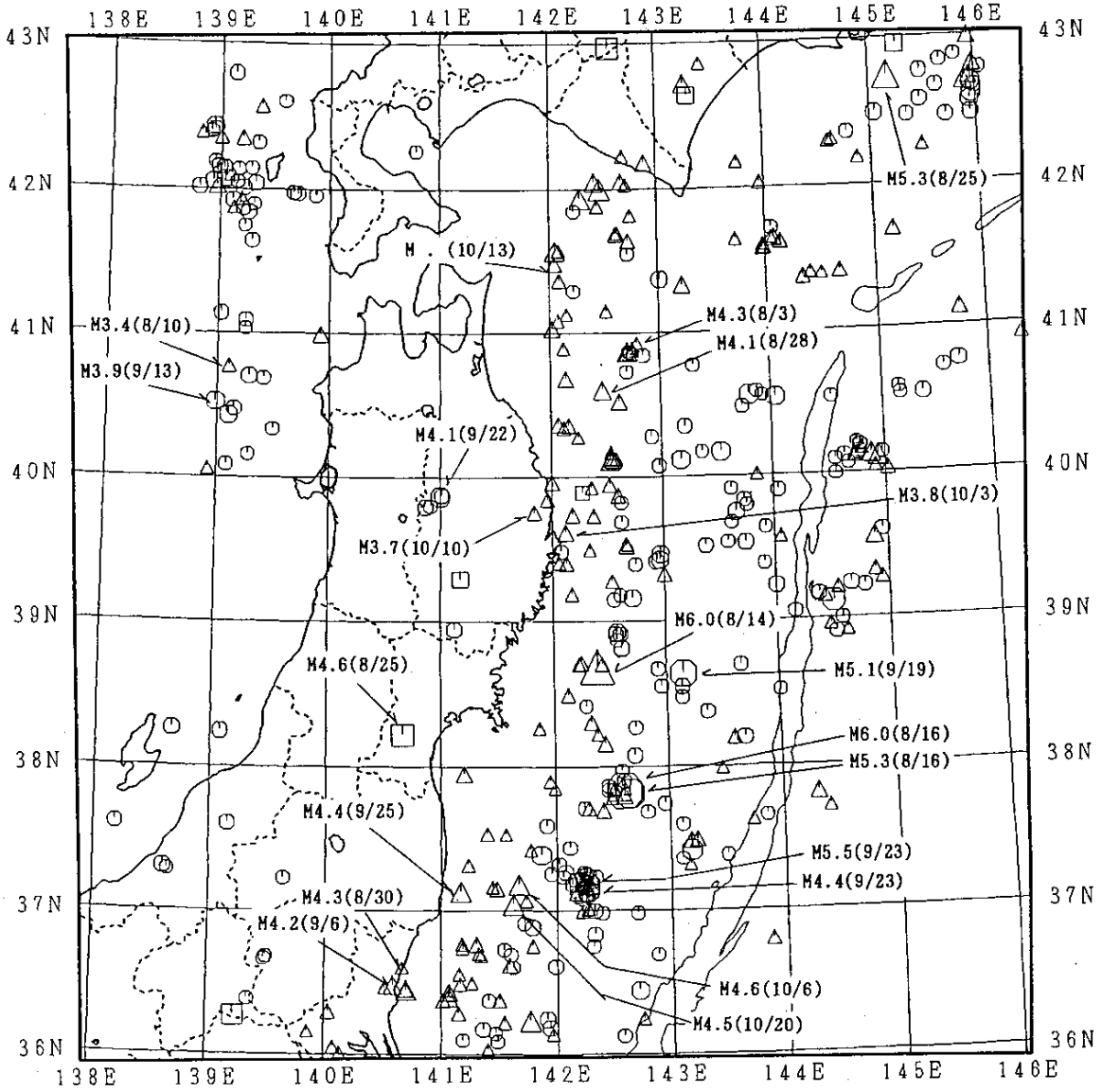
(注) 図中のM及び(月/日)は管内気象官署有感または現地有感地震

第1図 東北地方とその周辺で発生したM 3の地震の震央分布： (a)1994年5月~7月, (b)1994年8月~10月

Fig.1 Epicentral distribution of earthquakes with M 3 in and around Tohoku District : (a) May-July, 1994, (b) August-October, 1994.

(b)

[震央分布図] 1994年8月1日~10月31日  $M \geq 3.0$   $h \leq 200$  km



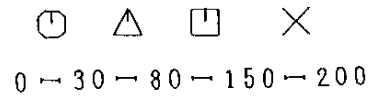
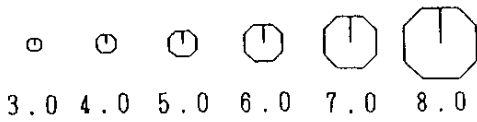
DATA NO. = 417

0 50 100KM

1:5000000

MAGNITUDE

DEPTH



第1図 つづき

Fig.1 (Continued)